

平成28年7月27日(水) 正午

一般国道121号(大桑橋)が開通します。

●事業概要

一般国道121号日光市大桑地内の大桑橋は、いわゆる会津西街道にあり、沿線には人家も多く生活道路として、また、特別史跡と特別天然記念物の二重指定を受けた杉並木もあり、観光にも寄与する重要な役割を果たしています。

しかしながら、東武鉄道鬼怒川線を跨ぐ当該橋梁は、昭和18年の架設から70年以上が経過し、老朽化が著しく、非常に危険な状況であることから早急な架け替えが必要でありました。

このため、平成25年度から事業に着手し、この度、新橋を含むL=330m区間の整備が完了し、平成28年7月27日に供用開始となります。

本路線の整備により、安全で円滑な通行が確保され防災機能が向上するとともに、一層の地域間の連携促進が期待されます。

～事業の概要～

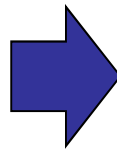
- 路線名：一般国道121号
- 延長：L=330m
- 道路幅員：W=10.0m
車道3.0m×2 片側歩道2.5m
- 事業期間：平成25年度～
- 事業費：約4.7億円

～大桑橋の概要～

- 延長：L=22.3m
- 幅員：W=10.0m
- 事業費：約3.6億円



旧大桑橋



新しい大桑橋

